

福山市産業支援者連絡会議議事要旨

日時:2023年(令和5年)2月24日(金) 14:00 ~15:30

場所:福山商工会議所 3階 302会議室

出席団体

福山商工会議所, 福山北商工会, 福山あしな商工会, 神辺町商工会, 沼隈内海商工会,
(公財)ひろしま産業振興機構, 広島県中小企業団体中央会福山支所,
(一財)備後地域地場産業振興センター, (株)日本政策金融公庫福山支店,
(株)商工組合中央金庫福山支店, ハローワーク福山,
広島県商工労働局商工労働総務課東部産業支援担当,
広島県立総合技術研究所東部工業技術センター

議事内容

■市内事業者の状況について意見交換（主なもの）

【業種別】

- ・原材料, エネルギー価格の高騰の影響により収益を圧迫している
- ・製造業は, 受注量が増加傾向にあるが, 人手不足で対応しきれしていない
- ・コスト高を売上に転嫁できる企業とできない企業がある
- ・設備投資・工場拡張等の動きが見受けられる。景気の先行き不安があり, 新規販路開拓に取り組む事業者も多い
- ・建設業においては, 部材の到着遅延が懸念材料となっている
- ・店舗への来店客はまだコロナ禍前に戻っていない
- ・人手不足を補う業務合理化や省力化投資への取組の遅れを懸念する企業もある
- ・宴会等夜の飲食需要が落ち込んでおり, 客数・売上は回復していない
- ・観光業においては全国旅行支援などにより回復している
- ・一部の企業では人件費をあげる動きがでてきている。人手不足も広く課題となっている

【融資】

- ・コロナ融資の返済で困っているという相談は現在あまりないが, 今後相談が増える可能性がある。
- ・今後, コロナ関連融資の返済が本格化する事業者が多くなることから, 事業継続へ向けた支援をより丁寧に行っていく必要がある

【雇用】

- ・コロナ関連離職者はほぼ見られなくなっている。
- ・ハローワーク福山の管内よりも, 管外から福山へ就職する方が多い状況

■次年度の取組事業について

- ・各支援機関，広島県の新年度予定事業，福山市の次年度予定事業について説明
- ・支援機関から
 - デジタル化支援について，相談体制や支援体制を強化
 - インボイス制度への移行や電子帳簿保存法への対応として専門家相談窓口を設置予定
 - 地元高校との連携による地元企業の紹介冊子作成，商工会活動紹介タブロイド紙作成
 - BtoB の取引の支援事業(個別商談会，販路の開拓など)を実施
 - 商圈分析，コンサルティング等融資だけでない本業部分の経営支援
 - サブスクリプション型定額制の「受け放題研修サービス」利用に係る補助制度
 - ブランディング支援事業補助金を実施。地元のデザイナーのグループと連携した事業成果のPR 事業など

■その他 情報共有

- ・市からグリーンなものづくり企業の発信について説明
 - 人材確保に向けて，環境配慮や職場環境整備，積極的な雇用など企業の優良事例等を発信する官民連携によるプラットフォームを構築していく
- ・市からゼロカーボンシティ宣言について説明
 - 2050年の温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティの実現の機運醸成を図るため，「ゼロカーボンシティ宣言」を行うこととした

■質問，意見

- ・人口の社会減に対しての行政の考え方
 - 対象に合わせた各種施策(若年層，社会人向けなど)，大学等との連携による雇用確保の取組などを継続する
- ・デジタル化など事業者の取組への支援
 - 事業者の事業実施につながる後押し，補助金など支援を引き続きお願いしたい

■情報共有など

- ・「国，県，市中小企業向け支援制度合同説明会2023」(3月18日14時からオンライン開催)を案内

以上